

第3回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの
技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」講演プログラム

東京都港区 品川インターシティA棟 27階
京都大学 東京オフィス
2015年11月17日 13:30 - 17:00
18日 10:00 - 17:00

11月17日

13:30-13:35

開会挨拶

(京都大学原子炉実験所) 佐藤信浩

13:35-14:40

座長 佐藤信浩

1. KURAMAの開発と展開について ~これまでとこれから~

(京都大学原子炉実験所) 谷垣実

14:40-15:00

2. サーバー機能付き KURAMA と小型クラマ KURAMA-Mini のご紹介

(株式会社松浦電弘社) 松浦隆弘

15:00-15:30

3. 歩行型放射能測定システム KURAMA-II を用いた福島県内果樹園の放射性物質分布
状況のマッピング

(福島県農業総合センター) 湯田美菜子

15:30-15:40 (休憩)

15:40-16:10

座長 斎藤公明

4. 放射線量測定業務の現状と課題

(国際航業株式会社) 津野浩一 渡辺明彦 加納政宏

16:10-16:30

5. 指向性があるガンマ線自動車走行サーベイシステム ASURA1 号のシミュレーション

(新潟大学工学部) 遠藤良、後藤淳、天谷吉宏、泉川卓司、椎谷友博、菖蒲川由郷、高橋剛、吉田秀義、内藤眞

16:30-17:00

6. 指向性があるガンマ線自動車走行サーベイシステム ASURA1 号の測定結果

(新潟大学アイソトープ総合センター) 後藤淳 天谷吉宏 泉川卓司 遠藤良 椎谷友博 菖蒲川由郷 高橋剛 吉田秀義 内藤眞

11月18日

10:00-10:30

座長 津田修一

1. 放射性がれき焼却飛灰仮り置場における住民主体の線量率モニタリングに関するデータ分析

(京都女子大学現代社会学部) 水野義之

10:30-11:00

2. 歩行型放射線量マッピング装置(ガンマプロッタH)の開発と現場での運用事例
(日本原子力研究開発機構) 川瀬啓一 渡邊雅範

11:00-11:30

3. GISシステムを用いた米国エネルギー省・日本文科省航空機データ調査の解析
(東北大学加齢医学研究所) 林剛平 福本学 (京都大学原子炉実験所) 今中哲二

11:30-12:00

4. 生活行動経路に沿った KURAMA 測定に基づく被ばく線量の推定
(日本原子力研究開発機構) 佐藤哲朗

12:00-13:00 (昼食休憩)

13:00-13:30

座長 後藤淳

5. 放射線量等分布マップ拡大サイトの開発・運用
(日本地図センター・原子力規制庁技術参与) 田中圭 (日本地図センター) 竹村和広

13:30-14:00

6. KURAMA-II を用いた福島県空間線量率測定情報の発信
(日本原子力研究開発機構) 武宮博

14:00-14:30

7. PHITS を用いた可搬型 In-situ 放射能深度分布スペクトロメータの放射能濃度値決定に
挑む
(徳島大学大学院医歯薬学研究部) 阪間稔

14:30-15:00

8. 可搬型 Ge による in situ ガンマスペクトロメトリの相互比較
(日本原子力研究開発機構) 三上智

15:00-15:10 (休憩)

15:10-15:40

座長 谷垣実

9. 土壤に沈着したセシウムによる空間線量率測定用のスペクトルー線量変換演算子
(G(E)関数)
(日本原子力研究開発機構) 津田修一 斎藤公明

15:40-16:10

10. 避難指示区域における走行モニタリング時の補正係数算出方法について
(東京電力株式会社 福島本部除染推進室環境調査G) 小林泰

16:10-16:40

11. KURAMA-II による走行サーベイ測定での自然放射能寄与の評価
(日本原子力研究開発機構) 安藤真樹 松田規宏 斎藤公明

16:40-

総合討論
閉会挨拶